

令和5年度第2回浜松市美術館協議会会議録

1 開催日時 令和5年12月14日(木) 午後2時30分から午後3時30分

2 開催場所 浜松市美術館 2階 講座室

3 出席状況

(出席委員 5人)

会長	内田 いず美	委員	磯部 啓次	委員	伊藤 公子
委員	今田 徹	委員	山口 剛		

(欠席委員 3人)

(出席者の職氏名)

浜松市美術館長	飯室 仁志	浜松市美術館長補佐	中村 真康
副主幹	市川 智久	副主幹	増井 敦子
指導主事	島口 直弥	指導主事	榛葉 公作
	内山 智恵		

4 傍聴者 0人

5 議事内容 審議事項
(1) 浜松市美術館外部評価について
(2) その他

6 会議録作成者 美術館美術振興グループ 市川 智久

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音有

8 会議録

- 1 開会 (中村館長補佐)
- 2 浜松市美術館協議会会長あいさつ (内田会長)
- 3 浜松市市民部文化振興担当部長あいさつ (嶋野部長)
- 4 浜松市美術館長あいさつ (飯室館長)
- 5 議題

(1) 浜松市美術館外部評価について

委員A：遠藤美香展について、学校としては木版画を取り扱った授業がなく、版画の素朴な良さを改めて実感した。

ハイジ展について、アニメの印象がとても強かったが、それぞれの国によってとらえ方とかイメージの違いがあり、改めて幅が広いと感じた。

刀剣展について、キャプションが小さく感じた。

青磁については、第三展示室での展示で刀と合わせて見たのですが、刀の鋭さと青磁の優しさが良い組み合わせと感じた。

委員B：青磁の展示について浜松市美術館に所蔵されていることを知らなかった。常設展示ができればいい。

遠藤美香展については、大きな作品があり見応えがあった。同時に版画の系譜も展示していてわかりやすい展示だった。

ハイジ展については、アニメは子供が対象と思っていたが、大人も対象として鑑賞ができ、制作過程のよくわかる展示で面白かった。

刀剣展について、浜松では見る機会も少なく美術品として価値のあるものと認識できたことに価値のある展覧会だったと感じた。

委員C：市展については、一般の方が応募してくるもので複数の審査員による審査を行ったことは非常に良かった。応募者数を増加させるために、協働センターやクリエートなどの美術サークルに直接宣伝してはどうか。

遠藤美香展については、白黒であれだけ表現できることに驚きを感じた。

ハイジ展については、様々な制作過程を示すことができて良かった。

刀剣展については、普段見られないものばかりで展覧会の内容も素晴らしいものだった。

委員D：遠藤美香展については、浜松ゆかりの作家を取り上げて地方の美術館として大きな役割を果たしたと感じた。

ハイジ展については、アニメのハイジに留まらず様々なハイジの存在を知ることができた。

教育普及活動について、教員向けの講座を開催するなど工夫を感じられた。

SNSを使って展覧会が終わった後の返却業務までの過程を発信していることなど大変興味がわく内容であった。

浜松城公園を上手く利用し展覧会を紹介できれば、良い美術館として評価できると感じた

委員E：教育普及活動についてですが、ここまで様々な活動を取組んでいることに驚いた。

展覧会の情報発信について、今の若者はSNSを通じて情報収集をしているので、美術館が積極的に情報提供する手段として活用していることは大変良いと感じた。

事務局：遠藤美香展ですが、地元出身の若手作家で展示作品としてもありましたが、巨大な版画を作成するなど、観覧者を圧倒するような作品が多く、とても熱心に活動されている。

今後も継続的に郷土出身の作家を掘り起こし紹介していきたい。

ハイジ展ですが、展覧会開催中に音楽を流すことも検討したのですが、金銭的に難しく断念した経緯がある。

刀剣展ですが、照度については借用先からの指示もあり、皆様の要望に応えられていないのが現状であります。展覧会のコンセプトや国の指針等を鑑みて最適な照度で対応していきたいと考えている。

市展ですが、募集方法について協働センター等で活動されている方が多いのでサークルの代表者へ案内文を送付するなどの周知方法を検討していきたい。

教育普及活動ですが、館内での活動に留まることなく、学芸員が外部での活動することも積極的に行っていきたい。

展覧会の周知方法ですが、広報はままつの活用やそれに併せてチラシの配布等のご意見もいただきましたが、紙面にも限りがあり庁内のルールに沿って活用している。その他の周知方法も探しながら様々な方向からアプローチできたらと考えている。

(2) その他について

事務局：令和6年度の展覧会についてですが、春に浜松ゆかりの洋画展、夏に切り絵展、秋に小杉コレクション展を考えている。

秋野不矩美術館についてですが、例年と同じ規模になりますが、3つの特別展と5つの所蔵品展示を検討している。

指定管理については令和6年度が最終年度となる。

委員A：令和4年度から指定管理者制度を導入しているが、何か変わったことがあるのか。

事務局：展覧会についてですが、令和4年度は市が企画した展覧会を運営していたため、あまり変化はなかったのですが、令和5年度からは指定管理者の企画展覧会になり、さらには指定管理者独自のノウハウを活かしたHPの作成や宣伝方法などにより集客率のアップに繋がっている。

展覧会以外にも指定管理者の人脈を活かした美術と音楽を取り入れたコンサートの開催など、オリジナル企画も展覧会と併せて行っており、展覧会を充実させる点では今後も期待ができる。

また、物販については浜松市直営時と比較して売り上げが倍増している。

8 閉 会 （中村館長補佐）

9 会議録署名人
議 長

内田 いす美

